

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート〔 事後評価 〕

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	03	02	01	0403	児童育成支援事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------------------------------------------	-------------------------------	-----------------

《事業目的》

放課後児童の居場所づくり

《事業開始の背景》

児童育成支援事業については、H10年に放課後児童健全育成事業が法制化され、現在の放課後児童対策事業実施に至っている。また、H19から国の放課後子どもプラン推進事業の開始に伴い放課後子ども教室推進事業を推進している。

《事業概要》

- 放課後児童対策 学童クラブ事業委託 21か所《うち新設1か所》
- 放課後子ども教室 放課後子ども教室の開設 2か所
- こどもフェスティバル開催 親子ふれあいの場、遊びの場の提供 1回
- 次世代育成支援行動計画推進 次世代育成支援対策推進協議会の開催（後期行動計画進行管理）1回
- 子ども・子育て支援新制度準備 子ども・子育て会議の開催 2回、ニーズ調査の実施

市民参画の有無〔対象外〕

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 放課後に居場所がある児童の割合	%	目標	95.0	95.0	95.0
		実績	85.0	86.0	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
人づくり	教育部	こども課	村田 豊隆	9-30-345

	25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費	99,564	83,978	6,438	90,416	95,384
財源内訳	国県支出金	56,970	49,610	53,368	56,319
	地方債				
	その他	462	350	350	162
	一般財源	42,132	34,018	2,680	36,698

《事業手法の詳細》

- ① 放課後児童対策 **95,514 千円**
 保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している概ね10歳未満の児童に対し、授業の終了後に児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えてその健全な育成を図る。
 【学童クラブ(21クラブ)】
 銀河・花巻・ひまわり・桜台第1・桜台第2・南城第一・南城第二・湯口・湯本・矢沢第一・矢沢第二・宮野目・太田・笹間・早池峰・石鳥谷・新堀・八幡・東和・わこの家・八重畑(新設)
 【内容】学童クラブ事業委託、学童クラブ施設修繕
 【主経費】事業委託料 92,262千円、修繕料・賃借料等 2,685千円、備品購入費 567千円
- ② 放課後子ども教室 **531 千円**
 小学校の体育館などに安全・安心して活動できる子どもの居場所を設け、地域の大人による安全管理員や学習アドバイザーを配置し、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動を実施する。
 【開設場所】内川目小学校・亀ヶ森小学校
 【内容】安全管理員・学習アドバイザーの配置、放課後子ども教室の実施
 【主経費】安全管理員等謝礼 362千円、消耗品・通信運搬費等 169千円
- ③ こどもフェスティバル **900 千円**
 親子のふれあいの場や子どもの遊び場を提供し、児童の心身ともに健やかな成長を促すことを目的に、児童福祉週間の一環として「こどもフェスティバル2013」を開催する。
 【開催日】平成25年5月5日(日)10時~13時
 【場所】花巻市総合体育館及び周辺イベント広場
 【内容】実行委員会構成団体等による、親子で楽しめるイベントコーナーの開催
 【主経費】こどもフェスティバル実行委員会負担金 900千円
- ④ その他事務費 **52 千円**
 次世代育成支援対策地域協議会委員謝礼
- ⑤ 子ども・子育て支援新制度準備 **2,567 千円**
 平成27年4月施行予定の子ども・子育て支援新制度に係る諸準備
 ・子ども・子育て会議の開催 2回
 【主経費】子ども・子育て会議委員報酬 112千円
 ・子ども・子育て支援に関するニーズ調査の実施
 【主経費】印刷製本費 407千円、集計業務委託料 2,048千円

児童育成支援事業(総括表)

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名
一般	03	02	01	0403	児童育成支援事業

総合計画	政策	地域で支える子育てと教育のまちづくり	施策	安心して育てることができる子育て支援の充実
4			4-1	
目的	放課後児童の居場所づくり			
対象	子育て家庭、地域、学校、事業所等			
意図	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で子育てを推進する体制の整備 ・放課後時に居場所を提供することにより、保護者が安心して就労できる 			

《事業概要》

○放課後児童対策 学童クラブ事業委託 21か所《うち新設1か所》
 ○放課後子ども教室 放課後子ども教室の開設 2か所
 ○こどもフェスティバル開催 親子ふれあいの場、遊びの場の提供 1回
 ○次世代育成支援行動計画推進 次世代育成支援対策推進協議会の開催（後期行動計画進行管理）1回
 ○子ども・子育て支援新制度準備 子ども・子育て会議の開催 2回、ニーズ調査の実施

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催	<input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input checked="" type="checkbox"/> 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	25年度(計画)
① 学童クラブ利用児童数	人	計画	960	960	960
		実績	870	880	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(計画)
① 放課後に居場所がある児童の割合	%	目標	95.0	95.0	95.0
		実績	85.0	86.0	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

要因分析	達成度	<input type="checkbox"/> 目標値より高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね目標値どおり	<input type="checkbox"/> 目標値より低い
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の就労状況による学童クラブ利用者数の微増 ・放課後に居場所がある児童の割合は、前年度と同様の傾向 				

《環境変化、意見・要望》

花巻市内学童クラブ連絡協議会から、委託料加算（市単独分）の継続及び増額等の要望が寄せられている。

目的妥当性	公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	・児童の安全安心な活動拠点の確保についての各事業の目的は妥当である
有効性	成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	・放課後の児童育成支援の場としての学童クラブ等の利用促進を図るため、保護者への周知等、各学童クラブ運営主体等関係機関と連携していくことで成果の向上が望める
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	・事業費について、放課後児童対策は、国、県の補助基準を基本としている事業であるため、削減の余地はない ・職員は委託事務や、県補助金事務、学童クラブとの連絡調整など多岐にわたる事務であり、削減の余地はない
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	・放課後の児童育成支援については、保護者が就労等により昼間不在の小学校就学児童が対象で受益機会は均等であり、また、利用者は応分の受益者負担（保育料）がある

《総合評価》

放課後児童対策として、市内の全小学校区域を対象に学童クラブ又は放課後子ども教室を設置しており、放課後の児童の居場所を確保している。今後は、個々の学童クラブ等と情報交換しながら、運営支援や施設修繕等の検討を重ねていく必要がある。